

電力需給ひっ迫時の緊急呼びかけについて

- 関西広域連合では、「関西節電アクションプラン」により府県民に節電の呼びかけを行っているところ。
- 2月には、冬本番を迎えるうえ、中旬以降には関西電力の供給力がさらに低下する見通し。
- 今冬初めて、週間でんき予報で、需給状況が「厳しい」（使用率 95%以上）との発表がなされた場合、以下の文書を公表し、再度府県民に協力を呼びかける。

緊急時の各家庭・オフィスにおける節電のお願い（案）

関西広域連合においては、昨年12月から各家庭、オフィスについて節電の取り組みをお願いしています。

本日、関西電力の週間でんき予報により、来週〇月〇日（〇曜日）に電力需給状況が厳しい（使用率 95%以上）と発表されました。

もし、さらに需給が厳しくなり電力使用率が 97%を超えると、急な停電の発生の可能性が高まるため、さらなる節電が必要となります。その際は、関西電力はもとより、各府県や市町等からあらためて呼びかけを行いますので、関西電力管内の各家庭やオフィスの皆様におかれましては、健康や事業活動に影響のない範囲で、以下のような取り組みに御協力いただきますようお願いいたします。

<家 庭>

- エアコンの使用を停止してください（エアコン使用のご家庭）
- 消費電力の大きい電気製品の使用は控えてください。

<オフィス>

- エアコンのご使用を停止するか、設定温度をさらに下げてください。
- パソコン、コピー機、プリンタのご使用は控えてください

平成 24 年〇月〇日

関西広域連合

連 合 長	井戸 敏三（兵庫県知事）
副連合長	仁坂 吉伸（和歌山県知事）
委 員	嘉田由紀子（滋賀県知事）
委 員	山田 啓二（京都府知事）
委 員	松井 一郎（大阪府知事）
委 員	平井 伸治（鳥取県知事）
委 員	飯泉 嘉門（徳島県知事）